

富士山の裾野に広がる愛鷹山や多くの子供たちが通う学校など、現在、私たちの生活の色々なところに素六の功績が残っていることを存じてほしい。市民の皆さんにこそ知ってほしい、素六の代表的な功績についてご紹介します。

沼津の茶業発展を加速させた

素六は明治10年に、アメリカへお茶を輸出するための「積信社」という会社を設立しました。それまで沼津ではあまりお茶の栽培が盛んではありませんでした。素六が事業に乗り出して以降お茶の栽培が奨励され、来日した第18代アメリカ大統領が視察に訪れるほど全国的に知られる産地となりました。その後膨大な負債を抱え廃業してしまいました。積信社の存在は今日に至る沼津の茶業発展の基礎を築いたものと評価されています。

愛鷹山を地域のものに

「愛鷹山の払い下げ」は素六が残した功績の中でも特に大きなものとされています。愛鷹山は、古来地元住民が共同で利用していましたが、明治7年に国有地化されてしまい、立ち入ることができなくなっていました。そこで、当時の政府に対し、素六が中心となって民衆への引き戻しに向けた運動が始まりました。

素六の功績紹介



明治史料館からのお知らせ

江原素六生誕180周年・没後100周年記念特別展!

明治から大正にかけて、私たちの郷土・沼津に多大な功績を残した偉人・江原素六の生涯について、改めて皆さんに知って頂くために特別展示を開催しています。ぜひ、お越し下さい。

とき 5月29日(日)まで

内容 江原素六の生涯と功績

観覧料 大人200円、子供100円
(市内の小・中学生は無料)

※5月15日(日)は無料開館です。



- ⑥
- ④
- ②
- ⑤
- ③
- ①

- ① 現在もお茶の栽培が続けられている市内の茶畑
- ② 愛鷹山を中心に林業を営んでいる愛鷹山森林組合の皆さん
- ③ 愛鷹山払い下げ記念碑前での記念写真
- ④ 市立第一小学校と生徒達
- ⑤ 駿東高等女学校の生徒と江原素六(前列右から4人目)
- ⑥ 市立病院病棟内

約20年に渡る奮闘の末、愛鷹山は沼津ほか十カ町村に払い下げられ、再び茶業や林業などに取り組めるようになりました。何より、愛鷹山は生活に欠かせない薪取りなどに活用されていたので、地元住民は多大な恩恵を受けることになったといえます。

市内に学校を創設

明治元年に沼津兵学校の創設に尽力し、明治6年には公立小学「集成舎」を創設しました。集成舎は小学校にあたる正則課(現・第一小学校)と中学校にあたる変則課(明治19年に廃校)に分かれ、英語や数学に力を入れた教育が行われていました。また、静岡大学の前身の学校である静岡師範学校(先生を育成する学校)の初代校長も務めました。明治34年には、私立駿東高等女学校(現・沼津西高校)を創設し、当時としては珍しい国家主義的な良妻賢母論にとらわれない自由で進歩的な女子教育が行われていました。

地域医療に貢献

本市は近隣市町に比べ医療機関の数が多く、また、東部の基幹病院としての役割を担う市立病院もあります。この元となった、駿東病院は当時駿東郡長であった素六が設立したものであり、院長として帝国大出身の医学士・室賀録郎を呼び寄せました。当時の素六の働きがなければ、現在の地域医療体制はなかったかもしれません。

沼津に尽くした偉人に改めてふれてみよう

今回の特集では、沼津の偉人である江原素六について紹介しました。江戸末期に江戸から沼津に来て以来、旧幕臣や地域住民のために働き続けた素六の功績はとて大きく、あの近代日本経済の父と呼ばれている渋沢栄一からもその死を惜しまれるほどでした。「今日の沼津市があるのはこの人がいたから」といっても過言ではないほど、多方面で活躍した素六ですが、その人物像や功績など、今回初めて知ったものもあったのではないのでしょうか。明治史料館では、現在特別展が開催されていますが、通常も素六の展示を行っています。また、PMぬまづでは、5月5日(木)と12日(日)に市長と公益社団法人江原素六先生顕彰会会長の対談番組も予定されています。令和4年は素六、生誕180周年・没後100周年の記念の年です。これを機に、沼津に力を尽くした偉人についてラジオや展示で理解を深めてみましょうか。

文化振興課 ☎055・934・4812
 明治史料館 ☎055・923・3335